

資料2-災害：業務分類（優先業務の選定）（災害用）

※：電気の復旧が3日は震度6の想定。震度7では7日に復旧の想定						
分類名称	定義	業務例	出勤率			
			30%(発災後6時間)	50%(発災後3日)	70%(発災後7日)	90%(21日)
業務の基本方針			生命・安全を守るために必要最低限のサービスを提供 徒歩で出勤可能者で対応	食事、排泄を中心 その他は休止または減電気復旧(※)。道路仮復旧。 被災者出勤不可	一部休止するが ほぼ通常通り 応援者の支援あり	ほぼ通常通り 水道復旧。ガスはLPの想定
A:継続業務	・優先的に継続する業務 ・通常と同様に継続すべき業務	食事、 排泄、 等	食事(災害時メニュー、昼のみ) 排泄(トイレ誘導) 送迎（避難所）	休業	休業	通常営業 療育開始
B:追加業務	・災害復旧、事業継続の観点から新たに発生する業務	【インフラ対策】 電気用燃料確保、発電機の点検 飲料水、生活用水の確保 ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 【人員対策】 出勤者の確保、シフト調整 応援者の手配、教育 委託業務の提供中止に対する対応	電気用燃料確保、発電機の点検 飲料水、生活用水の確保 ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 出勤者の確保、シフト調整 施設内、法人内応援者の手配 行政、関連団体等への応援要	休業	休業	ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 職員の復帰に合わせ応援者調整 法人内の正常化 行政、関連団体等への情報提
C:削減業務	・規模、頻度を減らすことが可能な業務	集団・個別療育	療育(休止)	休業	休業	入浴(ほぼ通常通り) 機能訓練(ほぼ通常通り) 口腔ケア(ほぼ通常通り)
D:休止業務	・上記以外の業務		すべての療育・それに係る付帯業務	休業	休業	以下の縮小(実施回数の制限) ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・集団療育 ・利用者の送迎範囲確認の上再開